

調べ学習を通じた国語力の育成と向上

大分県教育庁義務教育課

指導主事 甲斐 徳人

1 国語力と調べ学習

文化審議会答申『これからの時代に求められる国語力について』（H16.2）の中で述べられていることを整理すると、国語力とは、「理解する力（考える力、感じる力、想像する力）」と「表す力」及びそれらの能力の「基盤となる国語の知識や教養・価値観・感性等」としてまとめることができるであろう。

言葉は、知的活動、感性・情緒、コミュニケーション能力の基盤となるものであることから、子どもたちが充実した学校生活や社会生活を営んでいくためには、確かな国語力を身に付けていくことが大切である。この国語力は、各教科等の基礎・基本となるものであるとともに、子どもたちの人間関係や人格の形成を図るためにも重要なものである。そこで、学校教育全体で国語力の向上を目指した取り組みが、喫緊の課題として求められているのである。

ここでは、総合的な学習の時間や各教科等で行われる調べ学習に焦点を当て、それを通して育成する国語力について考えることにする。調べ学習は、自己学習力が遺憾なく発揮される総合的な学習活動と言ってもよい。ある課題について探究し、まとめていく学習活動である。その際、指導者は、完成した作品や発表のみでなく、子どもたちの課題探究のそれぞれの過程に目を向けて評価し、指導をすることが大切である。課題となる対象は様々であるが、言葉を通して情報を理解し、思考し、表現する活動に、国語力が大いに関わっているからである。子どもたちに身に付けさせたい力を明確にして、調べ学習を行っていききたい。

2 調べ学習を通して育成する国語力

調べ学習は、様々な学習形態、情報の集め方、まとめ方、発表方法等が考えられるが、次に、一般的な学習活動過程に沿って、調べ学習において育成する力及び各過程で育成したい国語力についてまとめてみる。なお、*印は、「考える力」等を分析した諸要素であり、※印は、それらが「話す・聞く」「書く」「読む」という言語活動に発現したものである。

学習活動過程（1～7）
調べ学習において育成する力（○）
育成したい主な国語力（*、※）
1 探究する課題を設定する。
○ 課題を設定する力
*発想する力 ～ 学校生活や社会生活などの中から何らかの物事に興味・関心や疑問をもち、それを知りたいと思ったり、周囲の人に伝えたいと思ったりすること。
*感じ取る力 ～ 日頃の生活の中から不思議だとかおもしろいとか感じ取ること。
*関係付ける力 ～ 疑問に思ったことをより質の高い課題まで高めていくこと。
※対話する力 ～ お互いの疑問を出し合いながら、考えを深めていくこと。
※課題をもって文章を読む力 ～ 文章を読み進めていく中で、疑問や課題をもつこと。

2 課題探究のための計画を立て見通しをもつ。	
○ 学習を構想する力	
<p>*関係付ける力 ～ 課題に対する研究仮説を立てること。</p> <p>*構想する力 ～ 課題解決のための学習方法を選択したり、資料の収集方法や時間配分を考えたりして、学び方を考えていくこと。</p> <p>※計画書（テーマ設定表）にまとめる力 ～ 構想に基づき、計画書を完成させること。</p>	
3 様々な情報を収集する。	
○ 情報を収集する力	
<p>*多面的・多角的にとらえる力 ～ 課題解決のため必要な情報を様々な観点から考えること。</p> <p>※速読する力 ～ 様々な文字情報の必要な部分を速く読み取ること。</p> <p>※インタビューする力 ～ 質問項目を整理して、必要な事柄を聞き出すこと。</p> <p>※メモをとる力 ～ 話し手の内容を的確にメモに取ること。</p>	
4 情報を取捨選択して、整理・記録する。	
○ 情報を取捨選択する力	○ 情報を整理・記録する力
<p>*比較する力 ～ 課題解決に必要な情報を比較しながら選択すること。</p> <p>*分類する力 ～ 様々な情報をカテゴリーごとに分類すること。</p> <p>*関係付ける力 ～ カテゴリーに分類した情報同士の関係を考え、その意味を考えること。</p> <p>*取り出す力 ～ 情報の内容を正確に読み取ること。</p> <p>※要約する力 ～ 必要な情報の中心となる部分を要約すること。</p> <p>※記録する力 ～ 必要な情報をカードに記入したり、図や表にまとめたりすること。</p>	
5 整理・記録した情報を基に自分の考えをまとめる。 レポート等の構成を考え、記述する。	
○ 情報を活用する力	○ 情報や自分の考えをまとめる力
<p>*分析する力 ～ 情報に含まれる事実や推測などを正確に見極めること。</p> <p>*批判する力 ～ 書かれた情報を鵜呑みにせず、様々な観点から検討すること。</p> <p>*解釈する力 ～ 書かれた情報に込められた筆者の意図を推測すること。</p> <p>*評価する力 ～ 書かれた情報に対して自分の知識や体験と照らし合わせて考えをもつこと。</p> <p>*構造化する力 ～ 取捨選択した情報を論に従って並び替え、項目を位置付けること。</p> <p>*具体化・抽象化する力 ～ 自分の考えを分かりやすくするために具体的に考えたり一般化して考えたりすること。</p> <p>*理由（根拠）付けする力 ～ 自分の考えの正当性を裏付ける理由を考えて示すこと。</p> <p>*例示する力 ～ 自分の考えを補強するために例を挙げて示すこと。</p> <p>*構築する力 ～ 調べたことと自分の考えを明確にしなが筋道だった論にすること。</p> <p>*創造する力 ～ 新たな発見やオリジナルな自分の考えをもつこと。</p> <p>※引用する力 ～ 必要な情報を吟味して、的確に取り出し引用すること。</p> <p>※記述する力 ～ 読み手に分かりやすく、表現しようとする内容にふさわしい語句を用いて記述すること。</p> <p>※推敲する力 ～ 表記や語句の用法、叙述の仕方などを吟味すること。</p> <p>※資料を作成する力 ～ 読み手に分かりやすい効果的な資料を工夫すること。</p>	

6 調べたことを発表する。 質疑応答をして、お互いの考えを交流する。	
○ 分かりやすく表現する力	○ お互いの考えを伝え合う力
<p>*展開する力 ～ 聞き手に分かりやすいように論を展開していくこと。</p> <p>*音声をコントロールする力 ～ 話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意して話すこと。</p> <p>*解釈する力 ～ 話し手の内容とその意図を考えること。</p> <p>*評価する力 ～ 話し手の発表の内容を自分の考えと照らし合わせてそれに対する自分の考えをもつこと。</p> <p>*質問する力 ～ 発表に対して、的確な質問をすること。</p> <p>*応答する力 ～ 質問に対して、的確に答えること。</p> <p>*説明する力 ～ 聞き手に分かりやすいように論点を明確にして説明すること。</p> <p>*要点を聞き取る力 ～ 話し手の内容を正確に聞き取ること。</p> <p>*対話する力 ～ 出されたテーマや内容について、お互いに意見を交流し深めること。</p>	
7 課題解決学習に取り組んできた過程や成果・課題について振り返る。	
○ 自己評価をする力	○ 相互評価をする力
<p>*比較する力 ～ 自分の発表と友だちの発表を比較してお互いのよさを見付けること。</p> <p>*分析する力 ～ 研究過程と発表を通して、観点に基づいて自らを振り返ること。</p> <p>*評価する力 ～ 研究の成果と今後の課題を明らかにして、自分の成長を実感すること。</p> <p>*記述する力 ～ 調べ学習を通じた自己の学びを的確に記述すること。</p>	

3 国語力を育成する調べ学習の指導のポイント

2で掲げた国語力のすべてを一度の調べ学習で身に付けさせる必要はない。子どもたちの実態や発達段階に応じて、付けたい力を設定し、重点化を図ることが必要である。特に、「考える力」の育成を中核に据えて、次のような学習活動を取り入れたい。

発想する力	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から問題意識をもたせる。(メモやカードに記録しておく) ・ウェビングマップ等で連想を広げさせていく。 ・少人数で意見交流を行い、問題を深化させていく。
比較する力	<ul style="list-style-type: none"> ・観点をもたせる。(複数の情報の共通点・相違点、妥当性、信頼性) ・それぞれの情報と自分の考えとを対比させる。
分類する力	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した内容のグループ分けをし、見出しを付けさせる。 ・必要な情報と不必要な情報を整理させる。
関係付ける力	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のグループ同士の関係を表示させる。 ・項目の大小(レベル)を考えさせる。
評価する力	<ul style="list-style-type: none"> ・整理(要約等)したカードにその情報に対する自分の考えを簡潔に書き込ませておく。
構築する力	<ul style="list-style-type: none"> ・構成表(カード)を活用して、課題に対するその解決に向けた論の展開が読み手(聞き手)に分かりやすいように組み立てさせる。